

はじめに

私たちの街・仙台は、現在109万を超える人口を有しながら、豊かな緑や広瀬川の清流に象徴される良好な自然環境に恵まれ、これを受愛する多くの市民の皆さまの手によって、「杜の都」の愛称とともに、今日まで営々として受け継がれてきました。

「杜の都環境プラン」は、こうした私たちの共有財産とも言うべき「杜の都」の良好な環境の維持・向上を市・市民・事業者が一体となって進める上で道しるべとなるものです。

近年、持続可能な社会の実現に向けた世界の動きが拡大しており、本市においてもこうした動きを捉え、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする「杜の都環境プラン」を策定しています。本計画では、仙台的強みである豊かな自然環境や市民協働で環境課題に取り組む力を活かし、環境面から持続可能なまちづくりを進めるため、目指す環境都市像を「杜の恵みを活かした、持続可能なまち」とし、世界的に喫緊の課題である地球温暖化対策やプラスチック資源循環に率先してより一層取り組むこととしております。

初年度である令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響下で、取り組みの縮小や延期を余儀なくされるなど様々な制限がある中、工夫を凝らし事業を進めてまいりました。脱炭素都市づくりの推進に当たっては、「省エネ家電買い替えキャンペーン」や「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）普及促進補助金事業」を展開しました。また、資源循環都市づくりの取り組みでは、使い捨てプラスチック削減に向けて、事業者と連携した「持とう・使おう マイボトルキャンペーン」の実施や製品プラスチック一括回収・リサイクル実証事業を行いました。

今私たちが享受している「杜の都」の豊かな恵みを未来に継承していくことは、この街に生きる私たちの責務であり、そのことを常に念頭に置きながら、プランで示した施策体系に基づき、これからも各般の取り組みを着実に推進してまいります。

本書は、令和3年度における仙台市の環境の現況と本市が実施した施策を年次報告書として取りまとめ公表するものです。本市の良好な環境を保全・創造し、将来の世代へと確実に引き継いでいくためには、市民・事業者・行政が持てる力を十分に発揮し、いきいきと活躍できる環境づくりが必要です。ともに手を携え、未来に向けた環境都市づくりを市民の皆さまとの協働により進めてまいりたいと考えております。

令和4年11月
仙台市長 郡 和子

目次

「杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)」のあらまし	3
SDGsとの関係	4
「杜の都環境プラン」(計画期間:令和3年度~令和12年度)における定量目標の進捗状況	5
【特集】環境分野における特徴的な取り組み	6
第1章 本市の環境の概況	9
第2章 目指す環境都市像に向けた分野ごとの取り組み	13
〔1〕脱炭素都市づくり	14
〔2〕自然共生都市づくり	23
〔3〕資源循環都市づくり	31
〔4〕快適環境都市づくり	39
〔5〕行動する人づくり	63
第3章 「杜の都環境プラン」の推進のための取り組み	71
〔1〕開発事業等に対する環境面からの調整システムの運用	72
〔2〕仙台市役所の取り組み	74
〔3〕環境保全のための組織	76
巻末資料	77
I 仙台市環境基本条例	78
II 環境関係審議会諮問事項	81
III 環境保全年表	82
IV 環境基準等一覧	86
V 用語解説	92